

http://www.minamih.net/



12・11・10(土)  
南NEWS NO48

## 八王子市民大会 少女 男子もGAMBA! 優勝 おめでとう!!



ライバル南大沢を倒しての見事な優勝です。午後練にも多いときは10人も来てGAMBAついている成果です。男子相手のサッカーカードボンでも少女のチームが圧倒しています。



<リーグ戦> (10/28 文化大)

○南八王子 対 南大沢A 1-1 (前半0-0) PK 2-1

テーマ 1. 前線と中盤のバランスのとれた動きとプレッシャー

2. 足もとへのパスではなくスペースへ出して相手の背後をつく。

得点者 片寄Mさん

4-2-1の布陣で始めたが、トップ下の2人のバランスが悪いのと1トップがずるずる下がった状態で、相手の得意なパス回しを許してしまう。この悪い状態を修正させて互角に攻めあえるようになった。それからは一進一退の展開が続き何本かシュートまで持ち込めたが前半は0-0で終了。

後半も相手にフリーマンを作らせないように指示しながら、プレッシャーをかけるが5分すぎにゴール前のごちゃごちゃから不運な1点を先取されてしまう。しかしモチベーションも下がらず果敢に攻め続け、15分に相手ゴール前でやはりごちゃごちゃから1点を取り同点。その後も攻め続けるが得点にならずPK戦へ。

この試合は意欲、運動量とも相手を上回りPKの前には勝ち越すチャンスも何回かあり、リーグ戦で負けた相手だがこれからは自信を持って試合に臨んでくれると期待したい。みんなよく走りましたね。(内田コーチ)

○南八王子 対 シルク 10-3 (前半4-3)

テーマ 自分のプレーをする、1対1で負けない

得点者 片寄Yさん(4)、小沢Mさん(3)、大塚さん(2)、村田さん

1試合目と続けての試合だったので、同じ4-2-1だがメンバーを大はばに入れ替えてスタート。簡単に4点取れたのは良いとしても、3失点の取られ方が悪い。ボールを保持して自分のプレーをするというめあては忘れ去られ、やみくもに相手のいる方へドリブルを仕掛け取られてしまう、取られても取り返しに追いつけないのでフリーでシュートを打たせてしまう。そのパターンで3失点。前半終了時4-3。

後半はひとり一人が集中力をもってプレーし無意味な失点をしなかった。こういう相手にはいつも練習していることを試すようにと試合後に話をした。(内田コーチ)

(11/4 文化大)

○南八王子 対 樺 4-0 (前半1-0)

テーマ 全員がゴールを狙う、1対1(取られたら取り返す)

得点者 漆間さん(2)、片寄Yさん、OG

勝てば決勝進出が決まる大切な試合は、まず失点しないようなフォーメーションでスタートします。ボールは支配するものの、フィニッシュが雑でなかなか得点できませんが、幸運な形で先取点が入ります。7分に村田さんの右CKが競り合いの中で相手に当たり、そのままOGに。気持ちは楽になりましたが、エースでトップの片寄Yさんがしっかりとマークされて追加点が奪えません。

そこで、後半は漆間さんをトップに、片寄さんを2列目に下げると流れが変わりません。まず5分に片寄さんのボールキープで相手DFを引きつけて、漆間さんへスルーパス。オフサイドギリギリでしたが、長いドリブル突破でキーパーの脇を抜くシュートで追加点。9分には、右サイドからの片寄さんの強烈なシュートをキーパーに弾かれますが、そこに詰めていたのが漆間さん。よく決めてくれました。その直後には、ゴール前で片寄Yさんと漆間さんのワンツーから片寄Yさんが決めてゲームセット。

相手のプレスに苦しみましたが、なんとか決勝戦へ進出を決めました。

<決勝>

(11/4 文化大)

○南八王子 対 なかの 2-1 (前半1-0)

テーマ 全員がゴールを狙う、1対1(取られたら取り返す)

得点者 片寄Yさん(2)

先制点はとても良い形で決まりました。6分に右サイドを駆け上がった大塚さんからの鋭いクロスボールをゴール前で片寄Yさんがピンポイントで合わせてゴールネットを揺らしてくれました。しかし、その後は雑な試合運びで苦戦を強いられました。まずはボールコントロール。狭いピッチではしっかりと止めれないとすぐに相手のプレスを受けてしまいますが、この試合ではそれが目立ちました。さらには雑なフィニッシュ。力が入りすぎて、枠を外す、しっかりとミートできないというシュートが多すぎました。できればもう1、2点ほど追加点が欲しいところでしたが、どうしても決勝戦は全員の力で戦いたいと思い、ベンチにいた5人を交代でピッチに送り込みます。この試合の大切さはみんな知っています。ピッチに送り込まれた全員がよく走り、良くボールを追いかけしてくれました。

後半も良く攻めましたが、相手キーパーの堅守もあって、追加点が取れません。その焦りなのか、中盤の片寄姉妹の二人が共に上がってしまい、真ん中の大きなスペースを与えるようになってしまいます。そして、19分に一瞬のスキを付かれて左サイドを突破されてクロスを許してしまうと、中央の大きなスペースの相手にパスがつながり、ゴール右サイドへ綺麗に同点ゴールを決められてしまいました。しかし、延長戦の戦い方を考え始めた時に劇的な幕切れが訪れます。ピッチから目を離していたので、そこまでの流れは良く判りませんが、キックオフのボールを片寄Yさんと大塚さんで上手くゴール前に運び、片寄Yさんがシュート。シュートはクロスバーをたたきますが、ラッキーにもそのボールが再び片寄Yさんの前にこぼれてダイレクトシュート。このシュートがゴールネットを揺らしてくれました。喜んでいる間に、ゲームセットの笛。見事な勝利でした。

この大会では、東京都チャンピオンの南大沢FCに今年初勝利できたという喜びも大きいと思いますが、決勝では全員が出場しての優勝もとても立派だと思います。みんな勝ち取った優勝です。この感謝を気持ちを忘れないで、一人一人が次の目標に向かって努力して欲しいと思います。 b y 飛田コーチ